

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月1日

上場会社名 亀田製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 2220 URL <http://www.kamedaseika.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 通泰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営統括本部長 (氏名) 佐藤 勇

TEL 025-382-2111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	59,661	2.5	2,573	22.6	2,989	32.8	1,627	34.6
21年3月期第3四半期	58,231	—	2,099	—	2,251	—	1,209	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	74.12	—
21年3月期第3四半期	54.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	51,382	28,094	54.2	1,274.55
21年3月期	49,546	27,177	54.4	1,222.42

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 27,840百万円 21年3月期 26,967百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年3月期	—	10.00	—		
22年3月期 (予想)				10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	3.2	3,500	11.9	3,700	11.6	2,100	9.0	95.62

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	22,318,650株	21年3月期	22,318,650株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	475,381株	21年3月期	258,006株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	21,961,938株	21年3月期第3四半期	22,312,424株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～12月31日）の当グループは、国内市場における主力商品の販売拡大と、グローバル・フード・カンパニーを目指した海外市場への取り組みを推進いたしました。

菓子の製造販売事業の主力となる米菓・スナックにおいては、「亀田の柿の種」のテレビコマercial等を投入する一方、消費者の生活防衛意識が一段と高まり、物価の下落が続いた状況下で、低価格路線を推進する競合メーカーとは一線を画しつつ、積極的な販売促進活動を展開いたしました。

以上のような取り組みによって、「亀田の柿の種」、「ハッピーターン」、「手塩屋」ブランドの売上が前年に対し大きく伸び、全体の業績をけん引いたしました。海外市場においては、米国における「柿の種」の取り扱い店舗がアジアマーケットから高級・自然派スーパーへ拡大するなど順調に拡販が進みました。

利益面においては、原材料価格の高騰は沈静化したものの、主原料であるお米の価格は高値圏で推移し、コスト環境は引き続き厳しい状況となりました。

また、貨物運送、倉庫事業においては、菓子食品取り扱いのノウハウを活かし共同配送受託の拡大に取り組み、その他の事業のソフトウェア開発においては、当グループ基幹システムのダウンサイジング化の推進に、そして設備設計においては、米菓主力商品の増産合理化設備の導入に、それぞれ取り組みました。

以上の結果、売上高は59,661百万円（前年同期比1,429百万円の増加）となりました。

また、営業利益は2,573百万円（前年同期比473百万円の増加）、経常利益は2,989百万円（前年同期比737百万円の増加）、四半期純利益は1,627百万円（前年同期比418百万円の増加）と、それぞれ前年同期を上回る実績となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、20,518百万円（前連結会計年度末比1,149百万円の増加）となりました。

これは主に現金及び預金やたな卸資産の減少による一方、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、30,863百万円（前連結会計年度末比686百万円の増加）となりました。

これは主に長期未収入金の減少により投資その他の資産が減少した一方、設備投資による増加や投資有価証券の取得によるものであります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、15,037百万円（前連結会計年度末比404百万円の増加）となりました。

これは主に賞与引当金の減少による一方、支払手形及び買掛金や短期借入金の増加などによるものであります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、8,251百万円（前連結会計年度末比515百万円の増加）となりました。

これは主に長期借入金の増加によるものであります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、28,094百万円（前連結会計年度末比916百万円の増加）となりました。

これは主に自己株式の取得による減少の一方、利益剰余金の増加などにより株主資本が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費などによる増加の一方、持分法による投資利益や法人税等の支払い、売上債権の増加により、2,228百万円(前年同期比841百万円の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資による支出や投資有価証券の取得などにより、△3,500百万円(前年同期比1,242百万円の支出増加)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる増加の一方、借入金の返済、自己株式の取得や配当金の支払いなどにより、△99百万円(前年同期比753百万円の支出減少)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して1,359百万円減少し、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は3,812百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境につきましては、個人消費の低迷や流通業界の競争激化、主原料であるお米の価格が高値圏で推移している等、引き続き厳しい状況となることが予想されます。

このような状況下ではありますが、通期の業績予想につきましては、平成21年5月11日の当初公表値のとおりといたします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,880,961	6,274,239
受取手形及び売掛金	12,314,336	9,716,488
商品及び製品	831,410	1,009,201
仕掛品	475,530	477,932
原材料及び貯蔵品	1,252,739	937,260
その他	775,693	963,084
貸倒引当金	△11,707	△8,588
流動資産合計	20,518,964	19,369,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,113,595	8,309,359
機械装置及び運搬具（純額）	7,744,205	7,388,529
土地	6,642,902	6,642,902
その他（純額）	1,012,370	458,535
有形固定資産合計	23,513,073	22,799,327
無形固定資産		
のれん	108,110	95,189
その他	494,662	441,410
無形固定資産合計	602,772	536,600
投資その他の資産		
その他	6,810,382	6,900,485
貸倒引当金	△62,266	△59,136
投資その他の資産合計	6,748,116	6,841,349
固定資産合計	30,863,963	30,177,276
資産合計	51,382,928	49,546,896

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,677,896	5,476,459
短期借入金	2,562,400	2,371,586
未払法人税等	450,569	391,855
賞与引当金	644,867	1,234,105
その他の引当金	275,920	293,600
その他	5,425,718	4,864,808
流動負債合計	15,037,372	14,632,415
固定負債		
長期借入金	898,500	411,206
退職給付引当金	6,762,510	6,652,664
その他の引当金	336,116	335,823
負ののれん	51,877	69,169
その他	202,523	267,625
固定負債合計	8,251,527	7,736,488
負債合計	23,288,900	22,368,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,946,132	1,946,132
資本剰余金	486,533	486,533
利益剰余金	26,494,908	25,306,987
自己株式	△677,046	△342,654
株主資本合計	28,250,528	27,396,998
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△139,979	△198,543
繰延ヘッジ損益	10,635	—
為替換算調整勘定	△280,795	△231,177
評価・換算差額等合計	△410,139	△429,721
少数株主持分	253,639	210,715
純資産合計	28,094,027	27,177,992
負債純資産合計	51,382,928	49,546,896

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	58,231,479	59,661,200
売上原価	35,370,187	35,524,201
売上総利益	22,861,291	24,136,998
販売費及び一般管理費	20,761,801	21,563,873
営業利益	2,099,489	2,573,125
営業外収益		
受取利息	11,864	10,509
受取配当金	59,290	58,673
負ののれん償却額	—	17,292
持分法による投資利益	18,422	291,481
その他	128,573	104,007
営業外収益合計	218,150	481,965
営業外費用		
支払利息	30,623	25,444
その他	35,567	40,496
営業外費用合計	66,190	65,940
経常利益	2,251,449	2,989,150
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,603	—
特別利益合計	1,603	—
特別損失		
固定資産処分損	66,829	142,727
減損損失	17,799	40,435
その他	11,258	2,283
特別損失合計	95,887	185,446
税金等調整前四半期純利益	2,157,165	2,803,703
法人税、住民税及び事業税	667,612	914,133
法人税等調整額	280,077	248,883
法人税等合計	947,689	1,163,017
少数株主利益	251	12,830
四半期純利益	1,209,224	1,627,855

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,157,165	2,803,703
減価償却費	1,954,625	2,205,666
減損損失	17,799	40,435
のれん償却額	14,278	17,300
負ののれん償却額	—	△17,292
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,016	6,624
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,984	109,846
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△708,285	△589,237
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△10,320	△17,386
受取利息及び受取配当金	△71,154	△69,183
支払利息	30,623	25,444
持分法による投資損益 (△は益)	△18,422	△291,481
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,862	2,283
固定資産処分損益 (△は益)	41,980	104,761
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,801,111	△2,597,911
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△52,736	△136,257
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,171,393	201,265
その他	711,980	1,181,780
小計	2,450,678	2,980,360
利息及び配当金の受取額	101,120	133,893
利息の支払額	△31,588	△25,728
法人税等の支払額	△1,133,384	△860,432
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,386,825	2,228,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△336,171	33,000
有形固定資産の取得による支出	△1,672,231	△3,154,766
有形固定資産の売却による収入	2,967	1,308
投資有価証券の取得による支出	△60,491	△228,071
投資有価証券の売却による収入	160	230
その他	△192,000	△151,959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,257,766	△3,500,258
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	59,281	△5,145
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△439,331	△316,747
リース債務の返済による支出	—	△18,889
自己株式の取得による支出	△44,009	△334,391
配当金の支払額	△428,772	△424,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	△852,831	△99,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,026	11,897
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,720,746	△1,359,450
現金及び現金同等物の期首残高	5,000,996	5,172,299
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,280,250	3,812,849

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	菓子の製造 販売事業 (千円)	貨物運送、 倉庫事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	55,450,865	1,933,512	847,101	58,231,479	—	58,231,479
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,395	3,491,162	698,836	4,191,394	(4,191,394)	—
計	55,452,261	5,424,674	1,545,937	62,422,873	(4,191,394)	58,231,479
営業利益	1,852,942	179,021	67,526	2,099,489	—	2,099,489

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	菓子の製造 販売事業 (千円)	貨物運送、 倉庫事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	57,197,093	1,902,763	561,344	59,661,200	—	59,661,200
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,356	3,498,122	948,532	4,448,011	(4,448,011)	—
計	57,198,449	5,400,885	1,509,877	64,109,212	(4,448,011)	59,661,200
営業利益	2,342,935	163,525	66,664	2,573,125	—	2,573,125

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

(1) 菓子の製造販売事業……菓子の製造販売

(2) 貨物運送、倉庫事業……貨物運送、倉庫

(3) その他……自動車の販売・修理、コンピュータソフトウェアの開発・販売、設備等の設計・監理

3 会計方針の変更

前第3四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)2.に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)3.に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4 追加情報

前第3四半期連結累計期間

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)(追加情報)に記載のとおり、平成20年度の法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業利益は「菓子の製造販売事業」で84,358千円、「貨物運送、倉庫事業」で122千円、「その他」で17千円それぞれ増加しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。